

声優芸能科 声優養成 受講科目一覧 1年次

文化・教養専門課程（文化・教養分野）

1 単位時間

45 分

授業科目		年間授業 時間数	週授業 時間数	単位数
講義	身体感情表現 I	74	2	4
講義	音声技法 I	74	2	4
講義	言語感情表現 I	74	2	4
演習	課題台本ゼミナール I	74	2	4
講義	ヴォーカル基礎知識 I	74	2	4
実習	ヴォーカル I	74	2	2
演習	ボディサイエンス I	74	2	4
実習	ダンス基礎	74	2	2
講義	ナレーション基礎	74	2	4
講義	声優基礎 I	74	2	4
実習	アフレコ I	74	2	2
実習	分野別実習 I	74	2	2
合計		888	24	40

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	身体感情表現 I		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	身体感情表現 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	福岡の演劇劇団に所属。俳優として20年間活動。東京、福岡などで現在も活動中。舞台演劇・TVドラマ・TVCMに自ら出演の他、CMナレーションや民放番組ナレーションも担当。俳優としての表現力と舞台経験を活かした講義内容となっている。				
授業概要					
①シアターゲームやインプロワークショップを実施、都度フィードバックを行って感情表現力を高めていきます。 ②エチュードを行いながら、様々なシチュエーションでの適切な感情レベルを探っていきます。 ③喜怒哀楽を、身体・セリフの効果的な使い方で適切に伝えられるように表現していきます。					
到達目標					
・表現の下地となる豊かな感情・喜怒哀楽を、他人が見て理解できるレベルで表現、またその強弱をも表現できるような技術を習得する。 ・喜怒哀楽以外の心の中にある様々な感情を、外に向かって表現する方法・技術を習得する。 ・演劇・舞台などにおける基礎を身につけ、人前で表現する羞恥心をとりのぞいていく。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	・コミュニケーションワークショップ ・集中力を高める訓練
【前期】 5～8回目	・シアターゲーム(ウインクキラー、子供・家・台風など)
【前期】 9～12回目	・滑舌訓練(レロレロ、ミャンマーゲームなど) ・言葉を使った感情表現
【前期】 13～16回目	・エチュードを中心に、表情を使った感情表現
【前期】 17～19回目	・エチュードを中心に、表情を使った感情表現② ■前期試験: 喜怒哀楽エチュード・感情が、表情や身体表現で他人に適切に伝わっているかチェック
【後期】 20～23回目	・エネルギー放出 ・脚本演技 ※シアターゲームは引き続き実施
【後期】 24～27回目	・エネルギー放出2・ 脚本演技 ※様々な役を交代で演じていく
【後期】 28～31回目	・他人から見た自分を研究・脚本演技 ※一つの決まった役を演じていく
【後期】 32～35回目	・進級公演に向けて ※一つの作品を仕上げている
【後期】 36～37回目	・進級公演に向けて ■後期試験: 脚本演技・適切な感情レベルの表現がきちんとできているかチェック
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する実技試験により「平常点 / 感情表現 / 感情コントロール / エネルギー放出 / 自己理解」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	演技に必要な要素のひとつに「リアリティ」があります。適切なシチュエーションには、適切な感情の表現レベルがあり、それがきちんと観客に伝わると「リアリティ」が生まれます。 人の心を動かすためには、役者自身の心が動いていないといけません。 そのために必要なレッスンが「身体感情表現」です。人に見せまいといた感情を外へ表現することができるようになります。頭で演じるのではなく、心で演じ、リアリティのある演技のできる役者を目指しましょう。
備考	都度用意した脚本を使用。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	音声技法 I		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	音声技法 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース/俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	声優事務所「ぶろだくしょんバオバブ」所属。TVアニメ「恋姫+無双(主役・関羽役)」、TVアニメ「ななついろ★ドロップス pure!!(小岩井フローラ役)」など出演作品多数。アニメーション声優、洋画吹替声優、舞台、CMナレーションなどで、2000年より活動中、現在に至る。声優としての活動経験を活かした講義内容となっている。				
授業概要					
①「日本語の発声レッスン」や他資料などを使い、発声・発音の基礎を学びます。 ②表現の基礎となる、言葉に対する知識の幅を拡げ実践できるようにしていきます。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・日本語共通語アクセントの習得の意識を付けをします。 ・声、言葉を使うプロとしての土台となる、発声、発音の基礎を理解し習得していきます。 ・一人一人の長所と短所を自ら知覚し、それを伸ばしながら活かす力を付けます。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	・腹式呼吸・呼吸調節方法・母音の無声化・鼻濁音の勉強。それに伴う実技。
【前期】 5～8回目	・腹式呼吸・呼吸調節・発声基礎練習・調音練習・外郎売の練習。
【前期】 9～12回目	・腹式呼吸・呼吸調節・発声基礎練習・調音練習 ・外郎売の暗唱の完成
【前期】 13～16回目	・外郎売の暗唱・腹式呼吸・呼吸調節・発声基礎練習・調音練習 ・ライブウィーク発表
【前期】 17～19回目	夏休み明け確認{・腹式呼吸・呼吸調節・調音・母音・連母音・母音の無声化・鼻濁音(外郎売)・発声基礎練習} ■前期試験:前期内容の理解度を含めた実技テスト
【後期】 20～23回目	・腹式呼吸・呼吸調節・調音母音の無声化・鼻濁音(外郎売)・発声基礎練習 ・個々の五十音の発声、発音チェック、課題徹底。
【後期】 24～27回目	・発声基礎練習・個々の五十音の発声、発音の課題徹底。・体力作り
【後期】 28～31回目	・発声基礎練習・体力作り・課題文章などを使った練習。
【後期】 32～35回目	■後期試験:全期通して理解力のチェックおよび作品読解を含む音読実技試験 :発声基礎練習・個人課題確認。
【後期】 36～37回目	・発声基礎練習・個人課題振り返り、2年へ向け春休み課題周知
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する実技試験により「平常点 / 発声・発音 / 呼吸調整 / 授業理解度 / 基礎訓練の取り組み方」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	言葉で表現する人にとって、発声・発音の訓練はを欠かすことが出来ません。個々によりその方法は細かく違いますので、自分の体とメンタリティーと向き合い、プロの表現者として魅力のある言葉を話せる人を目指してください。常に目的をもって、自分を厳しく管理し磨いていってください。それが出来れば必ず2年後は、今とは全く違った声という武器を持った人になれます。
備考	・「日本語の発声レッスン」 ・「アクセント辞典」

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	言語感情表現 I		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	言語感情表現 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース/俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	TVアニメ「ポケットモンスターBW」、外画「ザ・パシフィック」など出演作品多数。演技のジャンルに囚われず、テレビドラマや舞台、ナレーターなど2009年より声優として幅広く活動。現在は、ナレーター、ボイストレーナーを中心に活動中。声優としてだけでなく、様々な現場経験を活かした講義内容となっている。				

授業概要

- ①感情開放とは何か、感情開放というものがいかに大切かを知る。
- ②「演じるというのとは一体どういうことなのか」「演技しない演技」「心を動かす」ことを学んでいく。

到達目標

- ・言葉を使って喜怒哀楽の感情を表現するために必要な技術を身につける。
- ・感情開放を通じて、自分の演技をホンモノにする。
- ・様々な感情を経験することで表現を豊かにする。
- ・自分自身をさらけ出す意思と覚悟の習得。

授業計画・内容

【前期】 1～4回目	・自分自身に向き合う ・スピーチ:年間随所で実施
【前期】 5～8回目	・リラックスと緊張 ・イメージ
【前期】 9～12回目	・身体感覚、ストップモーション、スローモーション
【前期】 13～16回目	・1対2ディベート(テンション・パワー) ・ユニゾン・ミラーリング
【前期】 17～19回目	■前期試験:課題台本による演技 ・試験課題振り返り
【後期】 20～23回目	・基本的情緒(怒り・嫌悪・恐怖・喜び・悲しみ・驚き)
【後期】 24～27回目	・リアクション、エネルギー ・ショート台本
【後期】 28～31回目	・台本演技。戯曲中における自身の立ち位置、役目を考察する。
【後期】 32～35回目	■後期試験:課題台本による演技 ・試験課題振り返り
【後期】 36～37回目	・一年間の振り返り ・学んだことを意識した自由演技
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/表現力/対話/課題への取り組み/感情の向き合い方」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	表現力とは「自分の考えや思いなどを相手に分かりやすく伝える力」の事です。イメージが出来ていたとしても伝える力を鍛えないとプロにはなれません。まずその第一歩として、不安・羞恥心・過剰なプライド・功名心・優越感・劣等感などでかじがらめに縛られた心を自由に解き放ちましょう。自分自身に対して心を開き、フリではなく、本当に心を動かす演技を一緒に目指しましょう！
備考	・都度用意した原稿を使用。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	課題台本ゼミナール I		授業形態 / 必選	演習	必修
	学則別表上表記	課題台本ゼミナール I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	福岡の演劇劇団に所属。俳優として20年間活動。東京、福岡などで現在も活動中。舞台演劇・TVドラマ・TVCMに自ら出演の他、CMナレーションや民放番組ナレーションも担当。俳優としての表現力と舞台経験を活かした講義内容となっている。				
授業概要					
<p>①年間3本以上の戯曲台本を使用し、役の心情や行動原理を理解すると共に、観客の視線を意識した演技を習得していきます。</p> <p>②年間2本の舞台公演を、他学科のPA・照明・ローディー・企画制作コースと合同で授業をすすめ、舞台制作における、板上での立ち居振る舞いや制作スタッフの動きなど学び、様々な方面から舞台というものを習得していきます。</p>					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・声優や俳優に必要な表現力を、身体を使用した演劇を通じ習得する。 ・台詞を読み上げ、身体を使って喜怒哀楽の感情を表現するために必要な技術を身につける。 ・演劇に必要な基礎としての発声・滑舌・姿勢・体幹を手に入れる。 ・脚本をしっかりと読み取り、役の感情を的確に表現できる。 ・一舞台役者として、制作スタッフとの連携をもって舞台が制作、完成するということを理解して行動する。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	・演劇基礎ワークショップ ・エチュード(一本橋、押し売り 言葉限定等)□
【前期】 5～8回目	・脚本を使用した演技(起承転結で進行する、分かりやすい戯曲)
【前期】 9～12回目	・脚本を使用した演技(起承転結で進行する、分かりやすい戯曲)
【前期】 13～16回目	・脚本を使用した演技(芸術志向の強い、分かりにくい戯曲)
【前期】 17～19回目	・脚本を使用した演技(芸術志向の強い、分かりにくい戯曲) ■前期試験:脚本演技
【後期】 20～23回目	・脚本を使用した演技※進級公演候補作品を数作品
【後期】 24～27回目	・進級公演に向けて※本読みと配役決め
【後期】 28～31回目	・進級公演に向けて※立稽古、衣装決め
【後期】 32～35回目	・進級公演に向けて※通し稽古、照明、PAとりハーサル
【後期】 36～37回目	・進級公演に向けて ■後期試験:脚本演技。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 台詞まわし / 姿勢・体幹 / 協調性 / 脚本解釈」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	観客に想いを伝えるためには、発声、滑舌などの基礎を身につけ、文脈に沿った演技ができているかが大切です。 また演技の邪魔をしない、しなやかな身体としっかりした体幹が必要となります。 基本的なワークショップからひとつずつ丁寧に学び、総合的な演技力を習得していきましょう。
備考	他都度用意した脚本を使用。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ヴォーカル基礎知識 I		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	ヴォーカル基礎知識 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優養成コース/声優アーティストコース/俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	The 8th Music Revolution Hi-Gain大会でグランプリを獲得。・V3新人オーディション20thファイナリストに選出)そのポテンシャルの高さを披露。2012年には、Fukuoka Music Factoryの第6理ファイナルアーティストに選出。2016佐資年気球世界選手権応援ソングに「Life」が採用される。2020年配信弾き語りワンマンライブ「Voyage」を開催。現代のアーティストに必要な知識を盛り込んだ講義内容となっている。				
授業概要					
発声練習の基礎を学び、トレーニングを繰り返し、実践で使えるように結びつけていく授業です。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・どこの音域も均等にムラがなく出せるよう整えていく。 ・相対音感、リズム感、の強化。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	・ウォーミングアップ(ストレッチ、プレス、リップロール、ハミング・自分の声を知る)
【前期】 5～8回目	・地声と裏声(地声強化向けの課題曲①)
【前期】 9～12回目	・地声と裏声(裏声強化向けの課題曲②)
【前期】 13～16回目	・地声と裏声(使応用編)
【前期】 17～19回目	・相対音感(ハーモニー、コーラスワーク)・リズムトレーニング
【後期】 20～23回目	・ヴォイス理論(共、声の種類について)
【後期】 24～27回目	・ヴォイス理論(それぞれの名称、働き)
【後期】 28～31回目	・声の使い分け(いろんな声を聞いてみよう)
【後期】 32～35回目	・声の使い分け(歌ってみよう)
【後期】 36～37回目	・自分の歌い方を知る(keyチェンジ、アレンジ、やりたい表現のための技術)
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)1B(70点以上)/C(60点以上)1D(60点未満)E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する実技試験により「発声/表現/リズム/プレス/集中力」の5項目の到達度を総合的に評価する、
学生へのメッセージ	まずは、自分の理想の声、憧れ、などイメージをしっかり持ってみてください。その上で必要だと思うモノ、事、を学んで下さい。そのためのお手伝いを精一杯頑張ります。
備考	必要に応じて、CDや楽譜などを使用。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ヴォーカル I		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	ヴォーカル I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	シンガーソングライターとして、CDを数タイトルリリース。2002年より音楽活動開始。ソロまたバンドで全国ツアーを敢行。その中でメジャーアーティストとの共演も多い。現在まで継続的にライブ活動、作詞作曲活動を行っている。ギターヴォーカルとして、シンガーソングライターとしての経験を活かした講義内容となっている。				
授業概要					
<p>①歌唱のための基本技術(呼吸・発声・体の使い方)を学びます。 ②課題曲・自由曲を使って歌唱発声の強化・リズム感の強化をはかります。 ③上記で使用した楽曲を通じ、音感、ハーモニー感を学びます。 ④各コマで個人にフォーカスした時間を取り、弱点克服、長所強化をはかります。 ⑤12月のヴォーカルコンテストに向けてステージングの技術を学びます。</p>					
到達目標					
<p>・正しい発声、発音、呼吸、体幹を身に付け、表現力と共に歌唱全体のクオリティーを上げる。 ・オーディション等、今後、自身の武器として歌唱を使えるようにする。 ・ハーモニーなどを通じ、チームワークや調和を感じ協調性を育てる。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	基本発声(音感、リズムトレーニングなど)。自由曲を各々選定し歌唱実技。問題点を洗い出し、今度のトレーニングなどを方向性を説明。
【前期】 5～8回目	基本発声(リズムトレーニングなど)。課題曲①歌唱実技。音楽の基本となる要素のうちリズムにフォーカスしてリズム感を身に着ける。
【前期】 9～12回目	基本発声(ハーモニー、母音・子音の発声)。ミュージカル曲①歌唱実技。メロディーの中で言葉を立たせる方法を学ぶ。
【前期】 13～16回目	基本発声(呼吸、音感、リズム、ハーモニーなどを総合して)。前期1～4週で取り扱った自由曲を再度歌唱し、当初からの違いを明確に感じる。また、その時にできなかった部分をさらに深めて修得する。
【前期】 17～19回目	基本発声(総合)。課題曲②歌唱実技。表現力強化。 ■前期試験:前期で使用した楽曲を各々選定し、歌唱実技発表。リズム、歌唱の楽譜提示、実演。
【後期】 20～23回目	基本発声(総合)。12月のヴォーカル大会の楽曲選定。課題曲③歌唱実技。表現、パフォーマンス強化。
【後期】 24～27回目	基本発声(総合)。12月のヴォーカル大会の楽曲の歌唱実技。表現、ステージング察。
【後期】 28～31回目	基本発声(総合)。12月のヴォーカル大会の楽曲のクオリティー強化。総合的なステージングの考察。
【後期】 32～35回目	基本発声(総合)。ミュージカル曲②歌唱実技。総合的なステージングの考察。実演。
【後期】 36～37回目	基本発声(総合)。年間の復習、総まとめ。 ■後期試験:後期で使用した楽曲の歌唱実技発表。リズム、歌唱の楽譜提示、実演。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「ハーモニー / 発声 / 表現 / リズム / パフォーマンス」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	現代の声優にとって、歌を歌うことはもはや必須のスキルとなっております。 演技の勉強から歌に活かせることもありますし、歌から演技に活かせることもたくさんあります。 シンガーとしてだけでなく、総合的なパフォーマーとして成長できるようにサポートしていきますので、一緒に頑張ってください。
備考	都度必要な楽曲、リズム・ハーモニー譜を使用。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	殺陣パフォーマンス I		授業形態 / 必選	演習	必修
	学則別表上表記	ボディサイエンス I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	福岡を拠点に幅広いダンスジャンルで活躍中。2013年より某アーティスト専属バックダンサーを経て、AKB48、湘南乃風、倉木麻衣らと共演。現在はPVやCMに出演し、またミュージカル「刀剣乱舞」にも参加している。殺陣、バックダンサー、ミュージカルダンサー、振付師、ディレクターとしての活動経験を活かした講義内容となっている。				
授業概要					
<p>①筋肉トレーニング、ストレッチから始まり、自分の身体を使って感情を表現できるよう訓練していきます。</p> <p>②舞台やミュージカルに必要なアクションや殺陣を学びます。小道具の使い方や衣装の着付けについても学習していきます。</p>					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・小作品やPV作品、舞台作品での身体表現技術を習得する。 ・ストレッチ、筋力を強化するとともに、殺陣の基本やバランスを習得し、身体の使い方・リズム感を養う。 ・舞台、ミュージカルやライブステージで演舞できるよう、音楽に合わせた殺陣やアクションのコンビネーションを用いて、自己表現をする。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	・ストレッチ・筋肉トレーニング・殺陣小道具の使い方
【前期】 5～8回目	・筋肉トレーニング・体幹トレーニング・アクション①・殺陣基本
【前期】 9～12回目	・殺陣小作品①
【前期】 13～16回目	・殺陣小作品② ・衣装着付け ・殺陣を使った小作品発表会→ライブウィーク発表
【前期】 17～19回目	・ミュージカルアクション小作品① ■前期試験: 役3分間の殺陣基本や実践を発表する。
【後期】 20～23回目	・殺陣復習 ・ミュージカルアクション小作品②
【後期】 24～27回目	・ミュージカルアクション小作品③ ・フィジカルトレーニング
【後期】 28～31回目	・作品精度練成 ・衣装着付け ・ミュージカルアクション小作品発表会→ライブウィーク発表
【後期】 32～35回目	・発表反省、殺陣復習
【後期】 36～37回目	殺陣復習、自由演技 ■後期試験: ミュージカルアクションやフォーメーション、自己表現の発表。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 体幹と個性 / 集団創造力 / 間 / 脚本理解力」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	表現をする上で、土台となる身体を形作るとは非常に重要です。 殺陣を通してフィジカルを鍛えながら、自己の技術や魅せ方を学び、相手との呼吸や間合いを感じて成長して行きましょう。 作品と一緒に作っていくことの難しさ、楽しさを学び、集団、個人問わず表現出来るようになりましょう。
備考	都度楽曲CDを使用。また小道具として、殺陣用刀・竹刀を使用。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ダンス基礎		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	ダンス基礎	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	ダンス歴 17年、ダンスインストラクター歴 8 年。 ダンスチーム Mool(モール)に所属。福岡を拠点に AKB48、KAZU(BROWN SUGAR)、比花知春、Alice、fumika 等のバックアップダンサーをつとめる。HIPHOP、JAZZなど幅広いジャンルで活動中。 上記のダンサーとしての経歴を活かした、幅広い表現力を養う講義内容となっている。				
授業概要					
<p>①ダンスに必要な柔軟性・基礎体力を強化しながら、リズム感を養っていきます。</p> <p>②基本的なステップと動きを反復練習します。</p>					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・進級公演や舞台脚本内でのダンス表現技術を習得する。 ・ストレッチ、筋力を強化するとともに、ダンスの基本ステップ、バランス、アイソレーションを習得、身体の使い方・リズム感を養う。 ・舞台、ミュージカルやライブステージで踊れるよう、ターンや基本ステップのコンビネーションを用いて、自己表現をする。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	・ストレッチ・アイソレーション・リズムトレーニング ・筋力強化・体力強化
【前期】 5～8回目	・ストレッチ・アイソレーション・リズムトレーニング ・筋力強化・基本ステップ
【前期】 9～12回目	・HIPHOP基礎を中心に ・アイソレーション、基本ステップ
【前期】 13～16回目	・HIPHOP基礎を中心に ・基本ステップを含んだ振り付けを覚える
【前期】 17～19回目	・基本ステップを含んだ振り付けを覚える② ■前期試験:アイソレーションや基礎ステップの2分ほどの振り付けを覚え発表する
【後期】 20～23回目	・JAZZ基礎 ミュージカル等で必要なJAZZの要素を習得する
【後期】 24～27回目	・HIPHOP応用 ・JAZZ応用
【後期】 28～31回目	・舞台発表に向けて※ダンスの振り入れ
【後期】 32～35回目	・振り付けに加えて、自己表現やフォーメーションレッスン
【後期】 36～37回目	・フォーメーションレッスン ■後期試験:応用ステップを含んだ3分ほどの振り付けを覚え、自己表現を交え発表する
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /アイソレーション /リズム感 / 基本ステップ / 自己表現」 の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	1年生では基本となるアイソレーションを中心にステップを覚えていきます。 舞台やミュージカル、ライブステージなど様々な分野で必要となるリズム感や身体を使った表現力を磨いていきましょう。 そのためにも、身体能力の向上を目指して日々トレーニングしていきましょう。
備考	様々な楽曲の音源を使用

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ナレーション基礎		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	ナレーション基礎	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	TVアニメ「ポケットモンスターBW」、外画「ザ・パシフィック」など出演作品多数。演技のジャンルに囚われず、テレビドラマや舞台、ナレーターなど2009年より声優として幅広く活動。現在は、ナレーター、ボイストレーナーを中心に活動中。声優としてだけでなく、様々な現場経験を活かした講義内容となっている。				
授業概要					
<p>①日常から標準語のアクセントを使い、アクセントを修正しながら身につけていきます。</p> <p>②様々な原稿を読み、ナレーションに必要な知識と技術を学んでいきます。</p>					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・人前での表現のすべてに必須な、標準語のアクセントのマスターし、アクセント感覚を磨く。 ・ナレーションに必要なプロミネンス・リズム・アーティキュレーション・ポーズの技術を習得。 ・イメージを具現化し正しい情報を伝達する。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	・声の共鳴・ブレスの強化(法性寺):年間通して実施 ・文節・連文節・係り受け
【前期】 5～8回目	・言葉のツブ立て・伝達
【前期】 9～12回目	・原稿の構成、読み解き
【前期】 13～16回目	・イメージ伝達、解釈
【前期】 17～19回目	■前期試験:実技(ナレーション) アクセント・声たて・共鳴など総合的にチェック。
【後期】 20～23回目	・媒体、シーンに合わせたナレーション
【後期】 24～27回目	・映像、時間に合わせる
【後期】 28～31回目	・朗読、語り、読み聞かせ
【後期】 32～35回目	・個性と適正
【後期】 36～37回目	■後期試験:実技(ナレーション) 様々な題材をふさわしくナレーションで伝達できているかチェック。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 滑舌等基礎 / 声たて / 時間感覚 / 伝達力」 の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	多種多様なナレーションがありますが、まずは文章を正しく伝えられるようになる事が第一です。 正しいアクセントやイントネーション。聞き取りやすい発声。的確なリズム・間・強弱など、まずは基礎をしっかり固めていきましょう。 一年次の頑張りが、二年次の応用につながります。おろそかにせず頑張ってください！
備考	・「アクセント辞典」 ・都度用意した原稿を使用。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	声優基礎 I		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	声優基礎 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	声優事務所「ぶろだくしょんバオバブ」所属。TVアニメ「恋姫+無双(主役・関羽役)」、TVアニメ「ななついろ★ドロップス pure!!(小岩井フローラ役)」など出演作品多数。アニメーション声優、洋画吹替声優、舞台、CMナレーションなどで、2000年より活動中、現在に至る。声優としての活動経験を活かした講義内容となっている。				
授業概要					
<p>①自分の考え・思いを、具体的なイメージを持って表現するために必要な言葉を、根底から見直し磨きます。</p> <p>②目標達成シートなどを用い、志望する仕事に対して具体的なアプローチが図れるように、行動を習慣化させます。</p> <p>③ラジオ生放送により、さらなるコミュニケーション能力を積み上げ、また時間感覚をつかんでいきます。</p>					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを言葉や表情で伝えられるようになる。 ・将来の夢や目標についてじっくり向き合い、仕事として具体的なアプローチが出来るようになる。 ・自己PRの上達を目指す。 ・ラジオ実習を通して、パーソナルな部分を活かして独自性を磨く。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	・目標達成シート作成。 ・人とのコミュニケーションを取りながらの自己PRの練習。
【前期】 5～8回目	・自己分析。 ・テーマを持った文章表現。(考察を口語表現する。)
【前期】 9～12回目	・テーマを持った文章表現。 ・自己PR。質疑応答。模擬オーディション。
【前期】 13～16回目	・ビブリオバトル・ラジオコーナーの企画案
【前期】 17～19回目	・模擬オーディション含む自己PR ■前期試験: 模擬オーディション形式。
【後期】 20～23回目	・ラジオパーソナリティー実習(外部ラジオスタジオにおいて)・プレゼンテーション
【後期】 24～27回目	・ラジオパーソナリティー実習(外部ラジオスタジオにおいて)・プレゼンテーション
【後期】 28～31回目	・ラジオパーソナリティー実習(外部ラジオスタジオにおいて)・プレゼンテーション
【後期】 32～35回目	・ラジオパーソナリティー実習(外部ラジオスタジオにおいて)全10回放送予定。 ■後期テスト
【後期】 36～37回目	・ラジオパーソナリティー実習
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する実技試験により「平常点 / 自己PR/ 姿勢や魅せ方 / 授業に取り組む姿勢 / 言葉の表現力」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	仕事をするということは、社会へ出て様々な人とコミュニケーションを取るということです。当たり前には仕事にならないこともあれば、ちょっとした気遣いや喜ばれることが、仕事への姿勢につながったりします。自分のやりたい事、やれる事をどんどん明るみにして、技術も人間力も上げていってほしいと思います。
備考	都度用意した原稿・本を使用。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	アフレコ I		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	アフレコ I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	声優事務所「ぶろだくしょんバオバブ」所属。TVアニメ「恋姫+無双(主役・関羽役)」、TVアニメ「ななついろ★ドロップス pure!!(小岩井フローラ役)」など出演作品多数。アニメーション声優、洋画吹替声優、舞台、CMナレーションなどで、2000年より活動中、現在に至る。声優としての活動経験を活かした講義内容となっている。				
授業概要					
<ul style="list-style-type: none"> ・台本読解について深く学ぶ。 ・レコーディングスタジオでの音声収録を通して、マイクの使い方、スタジオでの立ち振る舞い方を身につける。 ・ラジオドラマ台本を使ったレッスン。 ・アニメのアフレコ・映画のアテレコのレッスン。 					
到達目標					
スタジオマナーやマイクの使い方をマスターする。アニメや映画の実習を経て、声優の仕事により興味を持ち、研究をする。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	・台本読解(台詞のやり取り、ストーリーの捉え方を学ぶ)・ラジオドラマ・デモテープ収録
【前期】 5～8回目	・台本読解(台詞のやり取り、ストーリーの捉え方を学ぶ)・ラジオドラマ・デモテープ作成
【前期】 9～12回目	・アニメアフレコ学習 ・アフレコ実習(スタジオ)
【前期】 13～16回目	・アニメアフレコ学習 ・アフレコ実習(スタジオ)
【前期】 17～19回目	■前期試験:実技 ・台本読解
【後期】 20～23回目	・ラジオドラマ実習(レコスタにて収録) ・前期の復習
【後期】 24～27回目	・ラジオドラマ実習
【後期】 28～31回目	・発表会 ・アニメアフレコ(レコスタにて収録・スタジオワーク)
【後期】 32～35回目	・デモテープ(素材選定、練習) ■後期試験:デモテープ収録(選定から収録まで全てにおいて採点)
【後期】 36～37回目	・スタジオ収録実習
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する実技試験により「平常点 / 適切な状況判断/ 演技力 / 授業に取り組む姿勢 / スタジオワーク」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	アフレコも、身体全体を使って演じます。その中でも台本のチェックの仕方、マイクの使い方、収録方法など、アフレコならではのことがたくさんあります。 レコーディングスタジオで実際に収録してみることで、現場さながらのレッスンができます。ひとつずつ不安要素をなくしていきましょう。
備考	都度用意した原稿を使用。